

作成日：2025年 2月 28日

これまでに Viper Prime<sup>®</sup>による椎体間固定術の治療を受けた患者さんへ  
【過去の画像データ、診療情報の臨床研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院脊椎脊髄センターでは「胸腰椎変性疾患に対する正面透視のみを用いたスタイレット・スクリュー一体型経皮的椎弓根スクリューの有効性の検討」という研究を行っております。この研究は、胸椎および腰椎変性疾患及び外傷に対するスタイレット・スクリュー一体型デバイス (Viper Prime<sup>®</sup>) を用いた、正面透視法による経皮的椎弓根スクリュー留置術の安全性と有効性を調べることを主な目的としています。そのため、過去に Viper Prime<sup>®</sup>による腰椎椎体間固定術の治療を受けた患者さんの画像データ、カルテ等の診療情報を使用させていただきます。

- この研究の対象となる患者さんは、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、脊髄腫瘍、および椎間板炎の方で、西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2024 年 12 月 31 日の間に脊椎脊髄センターにて椎体間固定術を受けた方です。
  - ・利用させていただく画像データ：通常診療情報どおりに行われるレントゲン、CT、MRI
  - ・利用させていただく診療情報：生年月日、性別、既往歴、合併症、アレルギー、手術に関する一般的情報
  - ・収集期間：西暦 2020 年 4 月 1 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
  - ・情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経外科准教授 原 毅
- この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、画像・情報の利用を開始する予定日は以下のとおりです。
  - ・研究実施期間：研究実施許可日 ~ 西暦 2026 年 3 月 31 日
  - ・利用を開始する予定日：西暦 2025 年 4 月 1 日
- 過去の画像や診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。
- この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6.この研究は、順天堂大学脳神経外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

7.本研究は以下の体制で実施します。(この研究は当院のみで行う自主研究です)

順天堂大学医学部附属順天堂医院(研究責任者:脳神経外科 原 毅)

<既存試料・情報のみを収集し提供する機関>

該当なし

<研究協力機関>

該当なし

<委託機関>

該当なし

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の画像・情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、画像・情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはございません。

**【お問い合わせ先】**

順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科 原 毅

〒113-8431 東京都文京区本郷 3-1-3 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科  
03-3813-3111